

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第68期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社サンユウ
【英訳名】	SANYU CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上野 隆
【本店の所在の場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【最寄りの連絡場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第1四半期連結 累計期間	第68期 第1四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	3,720,476	3,596,250	14,401,284
経常利益又は経常損失( ) (千円)	43,648	34,448	87,970
四半期純損失( )又は当期純利 益(千円)	67,399	42,568	11,715
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	99,909	41,671	30,012
純資産額(千円)	6,646,655	6,644,936	6,716,520
総資産額(千円)	15,867,307	14,694,595	15,032,025
1株当たり四半期純損失金額 ( )又は1株当たり当期純利益 金額(円)	11.27	7.12	1.96
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	41.9	45.2	44.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して  
おりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式  
が存在しないため記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在  
しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重  
要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の財政・金融政策による景気回復期待感から株価回復・円高の是正が進み、輸出関連企業を中心に景況感が回復しつつあります。しかしながら、新興国（特に中国）の経済成長鈍化や欧州の低迷等により、不透明感の拭えない状況が続いております。

当社グループ主要需要家である自動車・建設機械・産業機械業界においては、円安基調のなか輸出の増加等を背景に、生産活動は好転の兆しを示しております。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保と生産性の向上及びコスト削減に取り組みました。

その結果、販売数量は24千トン（前年同四半期比1.8%増）となりましたが、販売価格の下落により売上高は3,596百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

損益につきましては、株式会社サンユウ九州において、販売及び生産が伸びたこと並びに減価償却費の減少等により赤字額が縮小しましたが、当社においてエネルギー価格の高騰により生産コストが上昇したこと等の結果、当社単体の業績が下振れしたことから、営業損失33百万円（前年同四半期は営業損失46百万円）、経常損失34百万円（前年同四半期は経常損失43百万円）、四半期純損失は42百万円（前年同四半期は四半期純損失67百万円）と赤字を計上いたしました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量が前年同期並となり、売上高は2,322百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量が前年同期並となり、売上高は1,273百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は14,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円減少いたしました。これは主に、借入金の返済等により現金及び預金が105百万円、減価償却等により有形固定資産が104百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は8,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円減少いたしました。これは主に、返済により短期借入金が100百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が290百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,644百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が72百万円減少したことによるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普 通 株 式	19,344,000
計	19,344,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,091,000	6,091,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	6,091,000	6,091,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	6,091	-	1,513,687	-	1,317,207

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 108,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,981,200	59,812	-
単元未満株式	普通株式 1,500	-	-
発行済株式総数	6,091,000	-	-
総株主の議決権	-	59,812	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンユウ	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号	46,300	-	46,300	0.76
大同磨鋼材工業株式会社	広島市西区小川内町一丁目25番13号	62,000	-	62,000	1.02
計	-	108,300	-	108,300	1.78

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,388,825	1,283,784
受取手形及び売掛金	1 4,241,400	1 4,261,473
商品及び製品	2,168,319	2,091,922
原材料及び貯蔵品	1,257,034	1,242,994
繰延税金資産	58,717	80,882
その他	250,659	185,878
貸倒引当金	19,754	22,052
流動資産合計	9,345,203	9,124,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,882,123	1,852,691
機械装置及び運搬具(純額)	2,006,446	1,932,535
土地	1,448,032	1,448,032
リース資産(純額)	18,952	18,334
その他(純額)	82,856	81,992
有形固定資産合計	5,438,410	5,333,585
無形固定資産		
のれん	49,625	45,489
その他	29,450	25,575
無形固定資産合計	79,076	71,064
投資その他の資産		
投資有価証券	64,618	63,710
長期貸付金	67,063	64,731
その他	52,908	51,519
貸倒引当金	15,255	14,899
投資その他の資産合計	169,335	165,060
固定資産合計	5,686,822	5,569,711
資産合計	15,032,025	14,694,595



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 3,676,240	1 3,765,570
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,310,186	1,277,292
リース債務	2,472	2,472
未払法人税等	46,871	28,843
賞与引当金	76,892	63,976
その他	332,725	408,993
流動負債合計	5,545,388	5,547,147
固定負債		
長期借入金	2,395,539	2,137,942
リース債務	16,480	15,862
繰延税金負債	36,457	41,035
退職給付引当金	282,565	268,597
長期未払金	5,400	5,400
資産除去債務	33,674	33,674
固定負債合計	2,770,115	2,502,511
負債合計	8,315,504	8,049,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,317,207	1,317,207
利益剰余金	3,929,437	3,856,955
自己株式	43,820	43,820
株主資本合計	6,716,511	6,644,029
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	9	906
その他の包括利益累計額合計	9	906
純資産合計	6,716,520	6,644,936
負債純資産合計	15,032,025	14,694,595

## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

## 【 四半期連結損益計算書 】

## 【 第 1 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	3,720,476	3,596,250
売上原価	3,337,438	3,198,572
売上総利益	383,037	397,678
販売費及び一般管理費		
運搬費	97,373	114,369
給料及び手当	98,994	96,701
賞与引当金繰入額	28,143	30,517
退職給付費用	13,655	4,844
減価償却費	23,812	21,860
のれん償却額	4,135	4,135
その他	163,803	159,247
販売費及び一般管理費合計	429,918	431,675
営業損失 ( )	46,881	33,997
営業外収益		
受取利息	389	541
受取配当金	4,104	216
受取賃貸料	6,139	5,888
鉄屑売却収入	1,940	1,487
その他	5,444	2,456
営業外収益合計	18,018	10,589
営業外費用		
支払利息	11,135	8,537
売上割引	805	427
賃貸費用	2,260	2,042
その他	584	33
営業外費用合計	14,785	11,040
経常損失 ( )	43,648	34,448
特別利益		
固定資産売却益	298	46
投資有価証券売却益	-	215
特別利益合計	298	261
特別損失		
固定資産除却損	1,261	-
特別損失合計	1,261	-
税金等調整前四半期純損失 ( )	44,611	34,187
法人税、住民税及び事業税	41,790	26,464
法人税等調整額	19,003	18,082
法人税等合計	22,787	8,381
少数株主損益調整前四半期純損失 ( )	67,399	42,568
少数株主利益	-	-
四半期純損失 ( )	67,399	42,568

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	67,399	42,568
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	32,510	897
その他の包括利益合計	32,510	897
四半期包括利益	99,909	41,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,909	41,671
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	233,775千円	252,179千円
支払手形	25,053	40,486

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	158,165千円	143,931千円
のれんの償却額	4,135	4,135

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成24年 3月31日	平成24年 6月29日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	30,223	利益剰余金	5	平成25年 3月31日	平成25年 6月28日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金310千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	11円27銭	7円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失( )(千円)	67,399	42,568
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失( )(千円)	67,399	42,568
普通株式の期中平均株式数(株)	5,982,726	5,982,630

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 7日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	堤 佳史	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小林 洋之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田中 賢治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータは含まれていません。